

## 法医学

責任者・コーディネーター	法医学分野 出羽 厚二 教授		
担当講座・学科(分野)	法医学分野		
担当教員	出羽 厚二 教授、中屋敷 徳 准教授、高宮 正隆 講師、新津 ひさえ 助教、熊谷 礼子 助教、岩瀬 博太郎 非常勤講師		
対象学年	4	区分・時間数	講義 25.5 時間
期間	前期		実習 9.0 時間

### ・学習方針（講義概要等）

医学および自然科学の知見をもとに、法的・社会的問題の鑑定・研究を行い、公衆衛生、社会福祉および基本的人権の保護に資する。

### ・教育成果（アウトカム）

医学・医療に関わる法的諸問題を理解し、医学的知識にもとづき確に将来実務的な案件処理ができる能力を習得する。  
(ディプロマ・ポリシー：1, 2, 5, 7)

### ・到達目標（SBO）

1. 法医学が果たすべき社会的義務について説明できる。
2. 生活反応、死後変化の原因・識別法を説明できる。
3. 各種損傷の成因および特徴的所見を説明できる。
4. 窒息死体の所見および死に至る機序を説明できる。
5. 異常環境における死について所見を説明できる。
6. 突然死、内因性急死の医学的・社会的問題について説明できる。
7. 異状死体の死因検索法、法的取り扱いについて説明できる。
8. 個人識別および遺伝的多型につき、基本原理を説明できる。
9. 法医中毒学に対する基礎的知識を説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室  
 (矢) 西 202 2-A 実習室 (法医公衆)

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/5	水	1	法医学分野	出羽 厚二 教授	ガイダンス・法医学総論
4/5	水	2	法医学分野	出羽 厚二 教授	死体現象
4/12	水	1	法医学分野	出羽 厚二 教授	損傷総論・鈍器損傷・鋭器損傷
4/12	水	2	法医学分野	高宮 正隆 講師	銃創
4/19	水	1	法医学分野	出羽 厚二 教授	個人識別と硬組織
4/19	水	2	法医学分野	出羽 厚二 教授	内因性急死
4/26	水	1	法医学分野	高宮 正隆 講師	嬰兒殺・児童虐待
4/26	水	2	法医学分野	中屋敷 徳 准教授	血液型・血清型・HLA 型
5/10	水	1	法医学分野	中屋敷 徳 准教授	DNA 多型
5/10	水	2	法医学分野	高宮 正隆 講師	異常環境による外因死
5/17	水	1	法医学分野	新津 ひさえ 助教	法医中毒学-1
5/17	水	2	法医学分野	熊谷 礼子 助教	法中毒学-2
5/24	水	1	法医学分野	出羽 厚二 教授	窒息-1
5/24	水	2	法医学分野	出羽 厚二 教授	窒息-2
5/31	水	1	法医学分野	岩瀬 博太郎 非常勤講師	特論 死後の画像診断

5/31	水	2	法医学分野	出羽 厚二 教授	医療関連死
6/5	月	2	法医学分野	出羽 厚二 教授	死亡診断書・死体検案書作成

【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/22	月	3	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	A 班 採血・DNA 抽出・PCR・血液型検査
5/22	月	4	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	A 班 採血・DNA 抽出・PCR・血液型検査
5/22	月	5	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	A 班 採血・DNA 抽出・PCR・血液型検査
5/23	火	3	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	B 班 採血・DNA 抽出・PCR・血液型検査
5/23	火	4	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	B 班 採血・DNA 抽出・PCR・血液型検査
5/23	火	5	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	B 班 採血・DNA 抽出・PCR・血液型検査

5/29	月	3	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	A 班 薬毒物検査・DNA 型電気泳動
5/29	月	4	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	A 班 薬毒物検査・DNA 型電気泳動
5/29	月	5	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	A 班 薬毒物検査・DNA 型電気泳動
5/30	火	3	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	B 班 薬毒物検査・DNA 型電気泳動
5/30	火	4	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	B 班 薬毒物検査・DNA 型電気泳動
5/30	火	5	法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法医学分野	出羽 厚二 教授 中屋敷 徳 准教授 高宮 正隆 講師 新津 ひさえ 助教 熊谷 礼子 助教	B 班 薬毒物検査・DNA 型電気泳動

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	NEW 法医学・医事法	勝又義直、鈴木修 編	南江堂	2008
教	臨床のための法医学 6 版	澤口彰子ほか著	朝倉書店	2010

教	法医学 改訂 3 版	福島弘文 編	南山堂	2015
参	死体検案ハンドブック 改訂 3 版	的場梁次、近藤稔和 編、田中圭二 著	金芳堂	2014
推	Forensic Pathology : Principles and Practice	David Dolinak, Evan W. Matshes, Emma O. Lew	Elsevier Academic Press	2005
推	Knight's forensic pathology 4th ed.	Pekka Saukko, Bernard Knight	CRC Press	2015
推	Spitz and Fisher's Medicolegal Investigation of Death 4th ed.	Werner U. Spitz	CRC Press	2006
推	Forensic Pathology 2nd ed.	Dominick J. Di Maio, Vincent J. M. Di Maio	CRC Press	2001
推	死体検案マニュアル 4 版	日本法医学会 編	日本法医学会	2010
推	新人類遺伝学入門	梶井英治 著	南山堂	1999
推	最新血液型学	梶井英治 編	南山堂	1998
推	法医学小辞典	勾坂馨 編	南山堂	1997
推	Human Blood Groups 3rd ed.	Geoff Daniels	Wiley	2013
推	Forensic DNA Typing : biology, technology, and genetics of STR markers 2nd ed.	John M. Butler	Elsevier Academic Press	2005
推	ルポ医療事故	出河雅彦 著	朝日新聞出版	2009
推	焼かれる前に語れ：司法解剖医が聴いた、哀しき「遺体の声」	岩瀬博太郎、柳原三佳 著	WAVE 出版	2007
推	法医学者、死者と語る：解剖室で聴く異状死体、最期の声	岩瀬博太郎 著	WAVE 出版	2010
推	家族のもとへ、あなたを帰す	柳原三佳 著	WAVE 出版	2012
推	中毒百科 改訂 2 版	内藤 裕史	南江堂	2001

推	臨床中毒学	相馬一亥 監修	医学書院	2009
推	薬毒物分析実践ハンドブック: クロマトグラフィーを中心として	鈴木修、屋敷幹雄 編	じほう	2002
推	薬物乱用・中毒百科	内藤 裕史	丸善	2011

・成績評価方法

筆記試験の成績による。実習前にミニテストを行う。内容を理解した上で実習に臨んで貰いたいからである。  
理解不足のままでの実習参加を認めない。

・特記事項・その他

講義：

1. 法病理学
2. 法医中毒学
3. 法医血清学・DNA 多型
4. 法人類学・法歯学

実習：

1. 血液型検査  
ABO 式血液型、Rh 式血液型
2. 血痕検査  
ロイコマラカイト緑法、顕微鏡沈降反応法
3. DNA 型検査  
STR 型
4. 毒物検査  
青酸・金属化合物の予試験、農薬の定性試験、血液中の一酸化炭素検出、濫用薬物スクリーニング

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	遠心分離機	4	血液型検査
実習	恒温槽	2	試料の熱処理
実習	沸騰水浴	1	試料の熱処理
実習	分光光度計	2	薬毒物検査
実習	ヒートブロック	1	試料の熱処理
実習	ドラフト	1	薬毒物検査
実習	実体顕微鏡	1	血痕検査
実習	光学顕微鏡	1	血痕検査
実習	電気泳動槽	7	血清型検査・DNA型検
実習	電気泳動用パワーサプライ	7	血清型検査・DNA型検
実習	高速遠心分離機	2	DNA抽出
実習	マグネティックスターラー	3	DNA抽出
実習	タッチミキサー	5	DNA抽出
実習	サーマルサイクラー	2	PCR
実習	紫外線照射装置	1	DNA抽出
実習	ゲル撮影装置	1	DNA抽出

実習	プリンタ	1	DNA 抽出
実習	振盪機	4	DNA 抽出
実習	データプロジェクタ	1	講義
実習	ノートパソコン	1	講義
実習	超低温槽	1	実習用
実習	バイオシェーカー式 (BR-23UM/MR)	1	実習用
実習	ノートパソコン (CF-R5LW4AXS)	1	講義用プレゼンテーション
実習	ノートパソコン一式 (MR3100)	1	講義用プレゼンテーション
実習	ノートパソコン (PC-VN500KG)	1	義資料作成用